

学内広報誌

# じんげん asile

ア ジ ール

秋冬号  
2025

大谷大学広報誌

pp.2-3 地域連携特集①

## 対談：「誰ひとり移動に困ることのない 地域社会の実現に学生が挑む」 モビリティデザインプロジェクト



pp.4-5 地域連携特集②

## 地域連携プロジェクト 地域に寄りそうプロジェクト(ちいプロ)

学内広報誌

じんげん asile

2025年10月 大谷大学広報第214号 大谷大学通信第101号  
編集 大谷大学広報委員会  
〒603-8143 京都市北区小山上総町 TEL:075-432-3131(代表)  
URL: <https://www.otani.ac.jp/>

## 時代をみつめる

教員Column

### スマートな社会と挨拶

ある風の強い木曜日、みんなに会い  
たくなつたクマとコブタは、ウサギの家  
に挨拶に行く。大事な用事しか頭にな  
いウサギは、クマとコブタが「木曜日お  
めでどう」と挨拶にきてても、その意味が  
分からない。ウサギとクマは全く別の  
価値観をもって生活している。

この「ウサギとクマ」の話は、石井桃子  
訳で言わずと知れたA・A・ミルン作「く  
まのプーさん」(正確には「プー横丁に  
たつた家」)の一話である。筆者が大谷  
大学の教壇に立つようになってから、な  
ぜか口にするようになった、言わば「持  
ちネタ」の一つでもある。我ながら、よ  
く飽きもせずに「クマクマ」口にしてい  
ると呆れるが、なかなかどうして奥が深  
い気がして、気が付くと、また今年も「ウ  
サギとクマ」の話をしている。その理由  
は、クマがかわいく、癒しになることに  
尽きるかもしれないが、この「癒し」の根  
を尋ねゆくと、現代社会を考えるヒント  
がある。



文学部 哲学科 講師  
鳥越 覚生  
専門分野/倫理学・宗教哲学

マなのでイギリス英語で「クレバー」と  
言っているが、クマもウサギを「スマー  
ト」と評している。この言葉は、サンデ  
ル教授を持ち出すまでもなく、アメリカ  
を筆頭に現代社会で好まれていく。私  
たちの身の回りでも、スマートフォンが  
日常に浸透しつつあるし、スマートに立  
ち振る舞い、仕事をサクサクこなしてい  
く姿は確かに格好いい。しかしその一  
方で、ますます暇をなくして、時間や費  
用の見返りに乏しい「挨拶」のような意  
味のよく分からないことが切り捨てら  
れていないか。「頭が悪い」と自称する  
クマは「頭がいい」スマートなウサギに  
挨拶に行った後に「それだからなんだ  
ね。あのひとが、なんにもわからないの  
は」とコブタに漏らしている。  
さて、「わかっていない」のはウサギと  
クマのどちらであるか。

What's

### じんげんasile?

『じんげんasile』は、学生・保護者・教職員3者による話  
題共有を目的とした学内広報誌です。  
このタイトルは、本学の象徴である尋源(じんげん)館と、  
中世に存在した公的な避難所を表すフランス語「asile  
(アジール)」から命名されました。飛び立つ力をたくわえる  
「asile」のような大学でありたい、という願いが込められ  
ています。  
ぜひ、友人や先生、家族と、この冊子を開いてみてください。

時代を照らす仏教のことば

## 仏道をならふといふは、 自己をならふ也。

道元『正法眼蔵』(道元禅師全集)第1巻 春秋社 51頁



受賞内容の詳細はこちら

学生による政策提案が  
行政の研究発表会等で  
数々の賞を受賞！



社会学部長  
社会学部 コミュニティデザイン学科  
赤澤 清孝 准教授

社会学部  
コミュニティデザイン学科 第3学年  
岡田 紗奈さん

社会学部  
コミュニティデザイン学科 第4学年  
堀 正樹さん

## 誰ひとり移動に困ることのない地域社会の実現に学生が挑む モビリティデザインプロジェクト

社会学部コミュニティデザイン学科・野村実ゼミでは、地域連携プロジェクトとして「モビリティデザインプロジェクト」を実施。学生は、高齢者の通院や買い物問題など地域の課題解決に向けた仕掛けづくりを行っています。

**一人ひとりの移動を  
良い方向に変化させる**

赤澤 地域の公共交通の課題に対するお二人の政策提案・発表が受賞しました。おめでとうございます。改めてこのプロジェクトにおけるモビリティマネジメントの研究内容について教えてくださいませんか？

堀 はい。モビリティマネジメントとは、一人ひとりのモビリティ(移動)が個人的にも社会的にも望ましい方向へと変化を促すコミュニケーションを中心とした交通施策のことです。私は、京丹後市にてゲーム要素を取り入れた交通すころくや、モビリティロゲイニングという野外活動ゲームを企画しました。

岡田 私は兵庫県丹波篠山市にて、公共交通の乗車体験会など積極的な利用を促進する取り組みを行いました。

赤澤 お二人の取り組みにおいて、企画のポイントはどういったところでしたか？

岡田 ターゲティングやセグメンテーションなどマーケティング要素を取り入れたところです。「公共交通を思いたいけど使い方がわからない高齢者」の方を対象者として設定し、実施時間を

**<受賞一覧>**  
2024年  
第20回京都から発信する政策研究交流大会  
●優秀賞(大谷大学 野村ゼミ MMチーム)

2025年  
第5回丹波篠山研究発表会  
●市長賞(岡田 紗奈)  
公益財団法人  
関西交通経済研究センター  
「第17回(2024年度)懸賞論文」  
●優秀賞(堀 正樹:2年連続)  
●奨励賞(岡田 紗奈)

短縮して体験会もすべて紙ベースで行うように工夫しました。

堀 利用者の6割が高校生と、その他は高齢者でしたので、働く父母世代や子どもなど普段利用しない層にフォーカスを当てました。利用促進を狙い、親しみやすいゲーム要素を取り入れました。

岡田 「のーと」というデマンド交通は予約型バスのため、高齢者にも利用しやすいように電話予約やLINE予約が1枚の紙で伝わる「おでかけカード」を制作したところ大変好評でした。

赤澤 わかりやすさって大切な要素ですね。堀さんはロゲイニングにも取り組みましたよね。

堀 はい。交通すころくのワンステップ先の取り組みとして乗車体験できるモビリティロゲイニングを企画しました。市内にチェックポイントをおき、公共交通と自分の足で周って競うゲームに仕立てて実施しました。

**伴走から自走へ  
いかに地域に波及させるか**

赤澤 実際の現地での取り組みや参加者の

反応はどうでした？

岡田 体験会では参加者の行ってみたい場所を調べて、バス停や路線を記入してお渡ししました。参加者の方からは「わかりやすい」という声があり、体験会を行った福住地区では昨年度の登録者数NO.1を達成。体験会の効果だと高評価をいただきました。

堀 交通すころくは子どもたちに楽しんでもらえましたし、地域の方と実施したワークショップでは、「mobility(モビリティ)ってここにあるんだ」と地域の公共交通を知ってもらった良い機会になりました。

赤澤 今後の課題や改善点など、お二人が感じたことはありますか？

岡田 行政の担当者が多忙で取り組みが進まない現状がありますが、市役所からは、大学という「よそ者効果」を期待しているということもあったので、地域とうまく関わりながら自走できるスキームを模索することが課題だと感じています。

堀 ゲーム型モビリティマネジメントも同じで、大学で学んだ企画の運営スキルを地域に波及させるのが課題です。チェックポイントの場所は地域の方が詳しいので、地域で発展してもらうのが理想ですね。

**地域から学びの動機をもらい  
地域に還元していく**



赤澤 普段の講義とこういったプロジェクトでは、学ぶ姿勢も違っていると思います。実際にやってみてどうでしたか？教室よりも外に出たらイキイキすることだってありますよね。

堀 地域の公共交通情報は、ネットでも簡単にわかりますが、目的地までの距離など、実際に現地に乗ることによる、体感でしかわからないこともあります。また、地域の方からリアルな感想を聞いたことが大きかったですね。住民の声はネットに載っていませんし、バス停間の距離なども歩いてみるとわからないですね。

堀 地域で同じ時間を過ごすなかで、グループでは一体感が生まれてきたように感じました。

赤澤 こういう取り組みの過程で仲がよくなったりしますよね。今回の取り組みで得た経験や知見をどう生かしていきたいですか？

岡田 社会学に他分野を取り入れることにおもしろさを感じたので、今回は経営や教育の分野で使われる「ミドルアツプダウン」を取り入れたんです。大学が住民と行政の間の連携役としてミドル層となり、住民の意見を吸い上げて行政に伝えたいと考えています。

赤澤 入口は公共交通でも、まち全体の暮らしをどう考えるか。誰か助けたいという学びの動機を地域からもらい、また地域に還元する。まさに大学生らしい素敵な学びですね。

堀 地域に通うことで土地も身に付き、愛着も湧いてきます。楽しさがあるから活動を頑張れるのかもしれない。この学びを次回の活動にも生かしたいと思っています。

※1 スマートフォンや電話から乗車予約できるAIオンデマンド交通。  
※2 アプリや電話で配車でき、最適なルートで目的地まで行くことができるサービス。京丹後市内の2エリアで運行中。

### ゼミ教員からのメッセージ

**地域と人を動かす  
コミュニティデザイン**

プロジェクトの成果として、中心的に活躍していた二人の学生がこのような数々の賞を受賞したことを、ゼミ教員としても大変誇りに思っています。堀さん、岡田さんの二人に共通する点として、第一に、たくさんの文献に目を通し、隣接分野も含めた先行研究レビューを丹念にされたこと。第二に、地元住民や自治体職員などの声を丁寧に拾い、それをもとに政策提言を作り上げたこと。そして第三に活動を通じて京丹後市や丹波篠山市の方々の(さまざまな意味での)「動き」を作ってきたことが挙げられます。今後のゼミ・プロジェクトでも、地域交通や人々の移動の活性化をテーマに、地域と人を動かすコミュニティデザインに引き続き取り組んでいきます。



社会学部 コミュニティデザイン学科  
野村実 講師

Pick up!

# 大谷大学生チャレンジ企画 地域に寄りそうプロジェクト

通称  
ちいプロ



2025年度認定式

## 学生主体で地域連携にチャレンジ

学生チャレンジ企画「地域に寄りそうプロジェクト」(通称「ちいプロ」)は、2024年度から始まった地域連携室の新企画です。学生の知恵と工夫を凝らした活動を行っています。「ちいプロ」とは、学生が企画を立て、地域の人たちと共に学び合い、育ち合うことで地域連携にチャレンジする取り組みを支援するプロジェクトです。採択されたグループに活動費を助成します。計画を一から作り、実行するというプロセスは、学生生活の充実と自己成長のチャンスです。2025年度は4団体が採択され、7月2日(水)に認定式が行われました。学生の関心や専門を生かし、授業をこえた学生の主体的な学びの機会となっています。

## 2024年度ちいプロ PICK UP!

**PROJECT 1** 大谷大学を中心として地域に貢献していこう  
~コミュニティ食堂の開催によって孤食の解消を目指す~  
(※2025年度も継続実施) [GOEN食堂]



老若男女問わず集まれるコミュニティ食堂を12回開催し、通算360名の方に来場していただきました。食事だけでなく、本学のクラブやサークルと連携したさまざまなイベントを実施したことで、充実した時間を創ることができました。

**PROJECT 3** 哲学カフェを通じた地域住民の  
ウェルビーイングの向上



地域住民や学生間の哲学的対話を促進し、知的交流の場となることを目指しました。京都信用金庫「QUESTION」など学内外の多様な人々が集う場において、福祉施設の利用者や高校生まで、自由にアカデミックな対話の場づくりを行いました。

**PROJECT 2** 滋賀県湖北地域における  
民俗文化の記録



時代とともに規模が縮小しつつある滋賀県湖北三郡の二十一日講を調査。3回のフィールドワークを行い、ラジオやオープンキャンパスで計3回発表しました。集大成として報告書をまとめ、調査先の方にお渡しすることができました。

**PROJECT 4** 商店街を活性化させよう!  
Region and Tourist Connection



お茶を使ったクラフトビール「まんまビア!」を醸造した西陣麦酒などと連携し、西陣にまつわるクイズ企画を実施。4日間で134名が参加し、国内外からのお客様に西陣の魅力を知っていただく機会となり、地域と協働するやりがいを実感しました。

# 地域連携プロジェクト

本学では、主に正課授業で大学近隣の団体などとともに社会貢献や地域連携活動を実施しています。



## 網野町海浜漂着プラスチックの調査・清掃活動

コミュニティデザイン学科(地域政策学コース)

日本海に面する京丹後市には冬の季節風の影響などにより、たくさんのプラスチックごみが漂着します。効率の良い回収方法を学生自ら考え、企業と連携して厄介者のごみを資源に変える取り組みを行っています。



## 祇園祭ごみゼロ大作戦

全学部・学科(共通基礎科目:人間学Ⅱ)

世界中から多くの観光客が訪れる祇園祭。宵山では夜店や屋台が立ち並びます。本学からは毎年100名程度の学生が参加し、リユース食器の回収やごみの分別の呼びかけを行い、ごみゼロを目指した環境配慮型のお祭り実施に協力しています。



## 京都府北部福祉フィールドワーク

コミュニティデザイン学科(社会福祉学コース)

過疎高齢化が進む京都府北部は、福祉分野の取り組み先進地です。生活者に寄りそった多様な地域実践を展開しています。学生は福祉実習に行く前段階として、地域の生活を支える社会福祉の役割を学び、その後のキャリア形成に活かされています。



## 子ども・子育て支援

教育学科 幼児教育コース

教員の専門性と学生の学びを生かし、子育て中の親子を対象に学内施設や近隣園において遊び場や交流の機会を提供。実践を通じた学びを深めています。保護者同士の情報交換や専門家への子育て相談など、地域全体での子育て環境も育んでいます。

## 多彩な活動が広がり続けています!



全13プロジェクトの  
活動紹介は  
こちら





Topics

大阪・関西万博に協力

仏教写本の研究に取り組む真宗総合研究所指定研究「仏教写本研究」(研究代表者:ダシュ ショパ ラニ教授)が、大阪・関西万博インド館のエントランスに設置されている「悟りの樹」(菩提樹)およびその周辺展示に、インド政府の依頼を受け、企画に協力しました。



2025年8月1日

愛媛県との就職支援に関する協定を締結

協定の締結に伴い、学生と地域の双方にとって今まで以上に有益な関係が構築できることが期待されます。就職支援協定を結ぶ自治体は18道府県となりました。

詳細はこちら



2025年7月30日・31日

企業訪問プログラム「1DAYオフィス訪問」を開催

「国際」「文学」「文化」「歴史」をキーワードとした京都市内の各事業所を会場にして、「京都企業を知る！企業訪問プログラム1DAYオフィス訪問」を京都市ならびに京都市わかもの就職支援センターと共同で開催しました。



2025年6月7日

「おたにキッズキャンパス～おたににだいがくで遊ぼう!～」を開催

初等教育コースの学生が中心となって子どもたちとの交流イベントを実施。それぞれのゼミの特色を生かしながら、子どもたちが楽しく遊び、学べる企画を考え、事前準備から当日の運営に取り組みました。親子41名の参加がありました。



2025年6月7日

外国人留学生へ英語による東本願寺参拝ツアーを実施【学長裁量経費採択事業】

国際学部の授業「English Workshop & Camp」において同学科の学生30名が、ヴァージニア工科大学(アメリカ合衆国)の留学生18名を対象に、英語で東本願寺の参拝ツアーを実施しました。本取り組みは、2025年度学長裁量経費採択事業として採択された事業です。



2025年5月17日

大谷大学学生会新入生応援イベント「ひまわり」を開催

新入生が同世代の学生とより深く繋がりを、新生活の不安解消や、より充実した大学生活を過ごしてもらうことを目的として新入生歓迎実行委員会が主催するイベントです。今回は大学の体育館を使用してスポーツレクリエーションを実施しました。



NEWS

「2028 Otani next update! 大谷大学将来構想」を公表

2028年に向けた、建学の理念に基づく教育・研究のさらなる展開をめざし、「2028 Otani next update! 大谷大学将来構想」を公表しました。2026年度には教育学部初等教育コースに「数理教育専攻」、2027年度には国際学部「京都文化学科」が新たに誕生します。

※2027年4月開設予定(仮称)、設置構想中。計画は予定であり、変更することがあります。

詳しくはこちら



2025年7月19日・20日

書道部が大丸京都店で子ども向け夏休み企画を実施

大丸京都店「だいまるきょうとつこがくえん」において、書道部が小学生以下の子どもを対象に、学生企画によるうちわを使った書道作品作りのワークショップを行いました。参加者やお店の方に大変ご好評いただきました。



2025年7月11日～13日

学内有志団体「大谷大学TAT(共に歩み隊)」能登半島地震 第7回復興支援活動

TAT第33便では、令和6年能登半島地震の支援活動として、7月11日～13日に有志の教職員・学生計24名が、石川県珠洲市内の仮設住宅で炊き出しと子ども遊び広場を行いました。

過去の活動はSNSをチェック



2025年6月26日

UIターン就職促進キャリアUPセミナー「ジモトモ福井」を開催

キャリアセンターのイベントとして、地元の魅力を再発見し、自身のキャリアの視野を広げることを目的に開催。福井県の協力のもと、福井県出身学生14名による、福井県産のお菓子の調査・プレゼン・試食会を実施しました。

- 人事情報
- 退職
    - 松田 純佳 (学生支援部) 2025年6月30日付
    - 大藏 美弥 (企画・入試部) 2025年6月30日付
  - 新規採用
    - 山下 真由美 (講師/文学部) 2025年9月1日付
    - 安藤 凜 (総務部) (事務系嘱託)
    - 小山 凜 (企画入試部)
    - 藤本 由佳子 (教育研究支援部) 2025年10月1日付(各通)
    - 山口 智美 (校医) 2025年6月1日付

SNSでも大学の動きをチェックしよう!

大学Webサイトでも最新情報を更新中!



Instagram



otani\_univ

X(旧Twitter)



@otaniuniv\_staff

Facebook



@otaniuniversity

YouTube



otaniuniversity

# University Festival 紫明祭2025

多くの笑顔や思い出が生まれる大谷大学学園祭「紫明祭」で、最高の思い出をつくらう!

2025年度テーマ

しんこうきふ  
**神紅鬼斧** ~無限の個性を学祭に集めて~

## 2025年度テーマ

本来のこの四字熟語は「神工鬼斧」と書き、その中の一字を前年度のテーマである「千紫万紅」から「紅」を引き継いで、学園祭実行委員会のイメージカラーに寄せました。この「神紅鬼斧」は、人の技術で作られたとは思えない素晴らしい作品という意味をもち、私たちもたくさんの人たちを楽しんでもらえるような作品を作り上げるという決意を込めたテーマとなっています。

## イベント内容

昨年度同様に、前夜祭、音楽イベント、カラオケ、プロタレントイベント、パフォーマンス、後夜祭、展示、模擬店の8つの企画を実施します。前夜祭は、芸人やアーティストなどをお招きし、漫才やライブなどを行ってもらい、紫明祭の開幕として場を盛り上げていきます。音楽イベントは、学内音楽団体が、来場者に向けて日頃の活動の成果を発表します。学生の活気のある演奏に注目です。カラオケは、学内者や一般の方(来場者)から参加を募り、日頃溜まった疲れを発散してもらうために歌唱してもらいます。得点が高い方には豪華賞品があります。そこにも注目です。

## 実行委員からのメッセージ

私たちは、「紫明祭」を盛り上げるために日々、外部とのやり取りや学内者とのやり取りを密に行い、協力し合い企画を考えています。老若男女問わず、様々な方に大谷大学という存在、そして歴史、文化について知っていただくために「紫明祭」を開催しています。どうぞ、一度、足を運んでいただき、紫明祭を楽しんでもらえればと思います。

学園祭実行委員会のSNSはこちら

Instagram  
shimeisai



X(旧Twitter)

@shimeisai\_2025



## Event Schedule

※イベント内容や日程等は変更・中止する可能性があります。

日時	イベント
11月7日(金) 16:30-18:50	前夜祭
11月8日(土)	10:00-16:30 展示・模擬店
	11:00-14:30 音楽イベント
	15:30-18:00 カラオケイベント
11月9日(日)	10:00-16:30 展示・模擬店
	13:00-14:00 プロタレントイベント
	11:30-15:00 パフォーマンス
	17:00-18:00 後夜祭



当日の運営も学園祭実行委員会が中心となって行います!

学園祭実行委員会 委員長  
**板尾 佑紀**  
(文学部 歴史学科 第3学年)



大谷大学学生会 プロジェクト

# 大谷サンドwhichプロジェクト

2023年度に大谷大学オリジナル珈琲「尋珈琲」を生み出した、「大谷大学学生会ほっとコーヒープロジェクト」に続く学生会プロジェクト第2弾!

## 「大谷サンドwhichプロジェクト」にて『OTN(オーティーエヌ)サンド』が完成!

学内カフェで尋珈琲とともに販売中です!

商品名 OTNサンド 販売開始日 2025年7月7日(月)~

価格 230円(税込) 販売店 大谷大学 学内カフェ(慶問館1F)

※同日より、「尋珈琲」ホットコーヒーを1杯130円(税込)、「尋珈琲」ドリッパーを1個150円(税込)で販売開始

「OTANI」の「O」「T」「N」を頭文字とした食材を使用したサンドウィッチ。「O」はオニオン、「T」はトマト、「N」はナチュラルチーズ。濃厚なオーロラソース、ごろっとしたポテトサラダとゆで卵フィリングマヨネーズがポイントで、尋珈琲にも合います。



## 「大谷サンドwhichプロジェクト」って?

2024年度から、大谷大学学生会(中央執行委員会/学園祭実行委員会 協賛:新入生歓迎実行委員会)が主体となり、学内食堂や学内カフェの運営を行う「エムサービス株式会社」の協力のもと実施した、大学オリジナルサンドウィッチ制作を目的とする産学連携プロジェクトです。学生会プロジェクトは、本学の建学の理念にも通ずる「学内一体」で「共に考える」ことをコンセプトとした取り組みですが、今回は前プロジェクトを超える学生・教職員延べ966名に参加いただきました。

## これまでの流れ

1

2024年5月

プロジェクト始動  
【授業時間外に定期的に集まりさまざまな検討を重ねました。】



2

2024年6月3日~18日

サンドウィッチアイデア募集企画を実施  
【347件の応募がありました!】



3

2024年12月9日

学生・教職員対象大試食会を開催  
【OTNサンド、いちご大福サンド、抹茶きなこもちサンドでアンケート実施。】



4

2025年5月20日~22日

学生・教職員対象最終大試食会及び決選投票を開催  
【アンケートを元に改良版での決選投票で『OTNサンド』に決定!】



## 硬式野球部

毎週月曜日をオフとして週6日練習をしています。メンバーは学年関係なく野球に対して熱い気持ちを持った選手が揃っており、練習中は指示の声や励ましの声で賑わっています！今春のリーグ戦では、I部リーグに昇格しました。昨春のリーグ戦でII部に降格して悔しい思いをしましたが、諦めず日々の努力を続けてきたことが、結果に繋がったと思います。しかしここからがスタート。上位順位を目指してこれからも日々成長していきます！



硬式野球部の現在のスローガンは「夢への挑戦」！挑戦する姿勢を大切に、当たり前ながらも常に全力で取り組み、夢に向かって挑戦を続ける姿に注目してください！

## ダンス同好会

毎週水曜日に活動しており、さまざまなジャンルのダンスを練習しています。定期的にショーケースなどのイベントを行ったり、大学の学園祭や地域のお祭りなどのイベントに参加させていただいたりしています。学園祭などのステージで踊った際、見てくださった方々が、私たちのダンスで「元気ももらえた」や「かっこよかった」などと声をかけてくださって、ダンスを通して色々な方々と繋がることができました。



ダンスの楽しさをたくさんの人と共有することがダンス同好会の目標！とにかくダンスが大好きな人が集まり、毎回みんなで楽しく踊り、明るく元気に活動しています！

2025年度前期の活動や活躍の様子をお届け！

課外活動

## バスケットボール部

メンバーは部活中もプライベートも仲が良く、練習終わりにご飯を食べに行ったり、休みの日に集まったりと部活外でも交流があります。部活中は、先輩後輩や学部学科も関係なく、みんなで楽しく活動しています。今年度は、リーグ戦での3部昇格のため、「去年よりも勝利を多く！」を目標に掲げています。みんなで声を出しながら、賑やかに楽しく、また真剣に、メリハリをつけて活動しています。



3部昇格を目標に、日々練習に励んでいます。基本的な練習の流れは、シュート練から対人メニュー、最後にゲームですが、バランスよくその他のランメニューやバスケットに必要な能力を使ったメニューも取り入れています。

## 児童教化研究会

児童教化研究会は、お寺の子供会、幼稚園や保育園、地域のお祭り、イベントなどに参加しています。子どもたちと一緒に遊ぶ中で、何が大事なことを考え続けることを大切にしながら活動しているサークルです。子どもたちが安全に遊べるように見守りつつ、活動中はメンバーも子どもの気持ちになって一緒に遊んでいます！今後は、子どもたちが気軽に集まれる場所をたくさん作ることが目標です！



今年の4月から参加させていただいている子供会があります。その子供会に来てくれる子どもの数が、4月からとても増えてきました。子どもたちにとって、集いの場となっていると考えると、とてもやりがいを感じられます！

### 卓球部

- 令和7年度 関西学生卓球春季リーグ戦 4部Bブロック2位(4部残留)

### 硬式野球部

- 2025年度 京滋大学野球連盟春季リーグ戦 II部1位(1部昇格)

### サッカー部

- 2025年度 第103回関西学生サッカーリーグ(前期) 4部Bブロック8位(4部残留)

### 【アシストランキング】

- 26位 廣瀬遥人 (社会学部コミュニティデザイン学科第4学年)
- 26位 本田聖 (社会学部コミュニティデザイン学科第2学年)
- 41位 小嶋晟央 (文学部歴史学科第4学年)
- 41位 酒井理至 (社会学部コミュニティデザイン学科第2学年)
- 【得点ランキング】
- 15位 本田聖 (社会学部コミュニティデザイン学科第2学年)
- 31位 小嶋晟央 (文学部歴史学科第4学年)

### バレーボール部

- 関西大学 バレーボール連盟春季リーグ戦 7部3位(残留)

### バドミントン部

- 令和7年度 京都学生バドミントンリーグ戦
- 男子2部 準優勝
- 女子2部 5位

### ● 令和7年度 関西学生バドミントン春季リーグ戦

- 男子3部 4位(男子3部残留)
- 女子3部 6位(女子3部残留)

### ● 令和7年度 関西学生バドミントン選手権大会

- 【男子ダブルスB】
- ベスト32 庄田裕太 (国際学部 国際文化学科第2学年)

- 藤山開史 (教育学部 教育学科第2学年)



## 2024年度決算・2025年度予算概要

### 2024年度決算

2024年度決算は、公認会計士および監事の監査を経て、2025年5月22日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会において承認されました。本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理しています。

また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年、決算承認後、文部科学大臣に届け出ています。

### 資金収支計算書

資金収支計算書は、その年度に行った教育研究等の諸活動に対応する資金の動き(収入と支出)の顛末を明らかにするものです。

### 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、その年度の諸活動を教育活動収支、教育活動外収支、特別収支に区分し、活動ごとの収入・支出の内容を明らかにするとともに、大学の経営状況を示すものです。

※本誌では、概要説明として「事業活動収支計算書」のうち、主な収支を抜粋して掲載しております。

### 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における財産保有の状況を表し、財産が適正に維持・管理されているかどうかを示すものです。

### 2024年度決算概要

2024年度決算概要は左記のとおりです。

事業活動収入計 …… 約48億5千万円	
※主な収入	
学生生徒等納付金	約35億7千万円
● 授業料、施設設備資金、実験実習料等	
手数料	約7千万円
● 入学検定料等	
経常費等補助金	約7億1千万円
● 国庫補助金(授業料等減免費交付金含む)、地方公共団体補助金	

事業活動支出計 …… 約49億2千万円	
人件費	約25億円
教育研究経費	約18億9千万円
うち、主な支出	
● 奨学費 …… 約3億3千万円	
● 委託費 …… 約5億5千万円	
● 減価償却額 …… 約4億9千万円	
管理経費	約5億1千万円
うち、主な支出	
● 広報費 …… 約1億7千万円	
● 委託費 …… 約1億7千万円	

### 2025年度予算概要

2025年度予算は、2025年3月25日開催の学校法人真宗大谷学園理事会において当初予算が承認されました。

事業活動収入計 …… 約48億5千万円	
※主な収入	
学生生徒等納付金	約36億5千万円
● 授業料、施設設備資金、実験実習料等	
手数料	約9千万円
● 入学検定料等	
経常費等補助金	約7億2千万円
● 国庫補助金(授業料等減免費交付金含む)、地方公共団体補助金	

事業活動支出計 …… 約53億6千万円	
人件費	約27億1千万円
教育研究経費	約19億8千万円
うち、主な支出	
● 奨学費 …… 約3億6千万円	
● 委託費 …… 約5億4千万円	
● 減価償却額 …… 約5億1千万円	
管理経費	約5億5千万円
うち、主な支出	
● 広報費 …… 約2億1千万円	
● 委託費 …… 約1億7千万円	

### 2025年度予算の概要

- ◆学修支援事業…授業運営・企業提携による授業実施等
- ◆地域連携事業の推進…地域連携室「コミュ・ラボ」を中心とした地域連携プロジェクトの遂行支援や2024年度に始動した「地域に寄りそうプロジェクト(ちいプロ)」への助成等
- ◆国際事業の推進…語学学習支援室「GLOBAL SQUARE」での留学生との交流イベントや語学研修の実施などの多彩なプログラムにより、異文化に触れる機会を提供
- ◆就職支援…低学年時からのキャリア形成支援として自己理解促進のためのアセスメント「GPS-Academic」の実施等
- ◆大学の管理運営等…キャンパス内設置のAEDの更新や各建物設備のメンテナンス等

### 詳細はこちら



## 教育振興資金(募金)

2025年2月1日から2025年6月30日までの間、教育振興資金局へご寄付いただいた方々のご芳名は左記のとおりです。募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。今後引き続き、募金を受けつけておりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

### 税法上の優遇措置

本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)へらびに税額控除にかかる証明(税額控除制度)を受けております。寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。確定申告の際、領収書を添えて申告をしてください。

### 教育振興資金寄付者(敬称略)

【個人】			
赤羽根 聡 (宮城県)	佐藤 静文 (宮城県)	本多 暁 (神奈川県)	
赤嶺 順子 (滋賀県)	澤田 康英 (兵庫県)	松井 健 (滋賀県)	
浅井 香奈 (高知県)	茂森 輝久 (滋賀県)	松崎 勤 (北海道)	
池谷 成人 (京都府)	篠岡 誓法 (大阪府)	溝川 浩治 (京都府)	
岩城 成人志 (鳥取県)	菅井 晃 (新潟県)	源川 秀教 (新潟県)	
大原 賢悟 (愛知県)	武田 量則 (新潟県)	美濃部 俊裕 (滋賀県)	
几 惠恵 (滋賀県)	月輪 融 (石川県)	村島 正洋 (滋賀県)	
上川 雄士 (兵庫県)	寺本 隆人 (滋賀県)	山田 雅明 (徳島県)	
楠 理見 (愛知県)	難波 明則 (大阪府)	吉田 妙快 (熊本県)	
窪田 純 (岐阜県)	橋本 直信 (京都府)	吉田 由人 (滋賀県)	
小林 智彦 (兵庫県)	比嘉 秀一 (沖縄県)	米澤 典之 (三重県)	
駒水 勉 (千葉県)	藤山 憲史 (石川県)	若山 猛 (広島県)	
酒井 洋一 (兵庫県)	堀 弘幸 (岡山県)	匿名希望 18件	
【法人・団体】			
長園寺	佐々木 敬 (静岡県)		
東光寺	英 信哉 (愛知県)		
有限会社 石間企画事務所	代表取締役 石間 裕 (東京都)		
NPO法人 尋源舎	理事長 東館 紹見 (京都府)		
長谷川体育施設株式会社	執行役員支店長 川村 直樹 (大阪府)		
関西支店			
匿名希望1件			
◆ 件数		62件	
◆ 寄付金総額		10,070,000円	

### 中国・四国地区保護者懇談会

広島会場  
2025年12月6日(土) 13:00～  
エールエールA館(広島市)

鳥取会場  
2025年12月7日(日) 13:00～  
ホテルモナーク鳥取(鳥取市)



学生支援説明の様子(長崎会場)



個別相談の様子(福井会場)



10周年特別メニュー(パンケーキ・アサイー・ヨーグルト)



「100円朝食」の様子

「100円朝食」利用者からのコメント  
(10周年イベント/世界の朝ごはん)  
・美味しそうなので友達を誘ってきた。明日も絶対に来ます!(第1学年)  
・100円でこんな国のご飯が食べられるのを楽しみにしてきた。(第1学年)  
・韓国やベトナム料理、パンケーキが美味しかった。(第1～4学年多数)

教育後援会では、2020年9月より学生への支援として学内食堂およびカフェへのランチ補助を行ってきました。2025年度についても支援を継続し、「日替わりランチA・B」について1食あたり60円の補助を行っています。2025年度前期は12,545食と多くの学生が利用しました。

また、生活のリズムを整え、バランスの取れた食生活を心がけてもらうため、今年度も「100円朝食」のフェアを4月と9月の授業開始時および7月の前期試験期間中に実施しました。特に4月については、10周年特別イベントとして世界の朝ごはんをイメージしたメニューを提供し、連日完売となりました。次回の「100円朝食」は、1月の後期試験期間中に実施する予定です。保護者の方からぜひ利用を勧めてください。

### 「日替わりランチA・B」補助「100円朝食」実施!

教育後援会では、2020年9月より学生への支援として学内食堂およびカフェへのランチ補助を行ってきました。2025年度についても支援を継続し、「日替わりランチA・B」について1食あたり60円の補助を行っています。2025年度前期は12,545食と多くの学生が利用しました。

### 教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互ならびに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。毎年、役員会・評議員会を開催し、さまざまな事業を企画・推進しています。

大谷大学 校友活動 行事一覧 検索

### こんな寄付方法もあります!

#### 京都市のふるさと納税を活用した地域連携促進事業

京都市にふるさと納税をする際、「寄付の使い道」の一つとして「大谷大学と協働」を選択いただくと、返礼品(※)や税制上の優遇措置に加え、寄付金については、大谷大学と京都市で取り組む、大学・学生と地域の連携促進事業等に活用されます。

詳しくは大谷大学ホームページをご確認ください。

※総務省の告示により、京都市内にお住いの方には、ご寄付をいただいても返礼品を送付できません。

大谷大学募金 検索